

福島大学理工学群共生システム理工学類

学則の変更の趣旨等を記載した書類

別添資料 目次

資料 1	福島大学「解のない問い」に挑むデータサイエンス教育プログラム概要.....	2
資料 2	デジタル競争力ランキング 2023	3
資料 3	DX 推進人材の「質」と「量」の確保の日米比較	4
資料 4	デジタル田園都市国家構想基本方針.....	5
資料 5	産業界が大学に求める、優先的に取り組むべき教育改革.....	6
資料 6	福島県デジタル変革（DX）推進基本方針（概要）	7
資料 7	福島県のデジタル活用状況.....	8
資料 8	福島県のデジタル人材の求人割合.....	11
資料 9	高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査.....	12
資料 10	理工学群卒業者の進路状況（2018～2022 年度）	13
資料 11	教育課程等の概要	16

資料1 福島大学「解のない問い」に挑むデータサイエンス教育プログラム概要

福島大学「解のない問い」に挑むデータサイエンス教育プログラム 概要

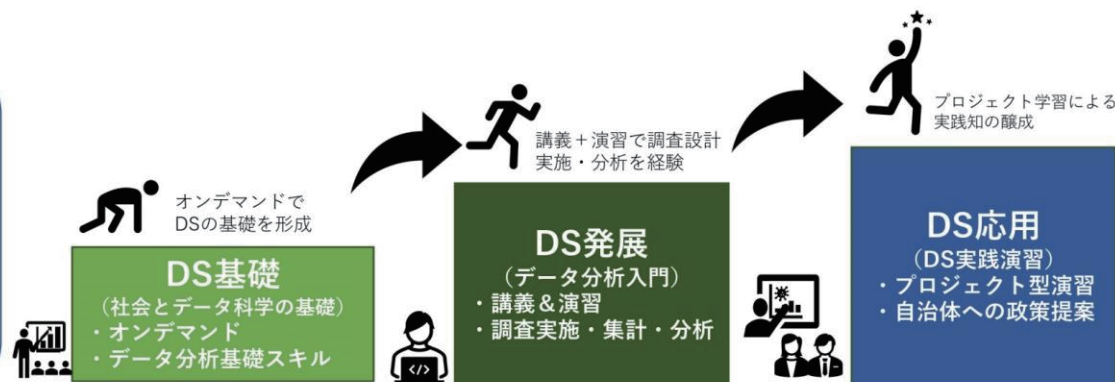


プログラムの特徴

- ・積み上げ式プログラム：「社会とデータ科学の基礎」→「データ分析入門」→「データサイエンス実践演習」
- ・自治体・産業界と連携した教育プログラム：実務家教員の招聘＋自治体等を対象にした政策提言プレゼン

実績

- ・9割以上の学生が授業内容が適切であると評価
- ・8割以上の学生が授業内容を理解し、授業目標を達成できたと回答
- ・優れた学修成果をあげた学生が福島市への政策提言（福島民報に報道）



学生の声 「DS学ぶ楽しさ」

- ・「データ分析が楽しい」、「統計学を知って、見える世界が変わった」との声多数
- ・社会におけるDSの身近な事例への興味関心

↓
学部(学類)専門教育への
接続でやりがいUP!!

学外からの意見

- ・定期的に自治体・産業界との意見交換や発表会の開催が好評！
- ・自治体・産業界からの意見を教育プログラムに反映する体制が充実！
- ・プログラムの内容に対する高い評価！

受講生増加に向けたチャレンジ

- ・R5～1年次全学生対象の必修科目へと拡大
- ・入学後のガイダンス・学務情報システムLive Campusで学生に周知
- ・関連する科目のシラバスでもプログラムの履修を積極的に推奨

詳細

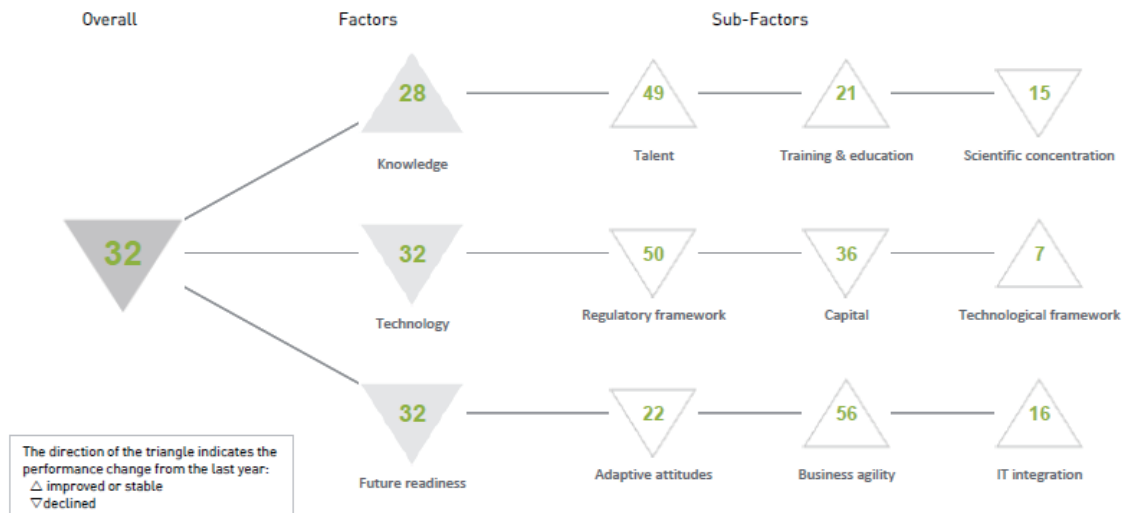


資料2 デジタル競争力ランキング 2023

DIGITAL TRENDS - OVERALL

JAPAN

OVERALL PERFORMANCE (64 countries)



OVERALL & FACTORS - 5 years

	2019	2020	2021	2022	2023
OVERALL	23	27	28	29	32
Knowledge	25	22	25	28	28
Technology	24	26	30	30	32
Future readiness	24	26	27	28	32

FACTORS BREAKDOWN - STRENGTHS AND WEAKNESSES

JAPAN

- ▶ Overall Top Strengths
- ▷ Overall Top Weaknesses

KNOWLEDGE

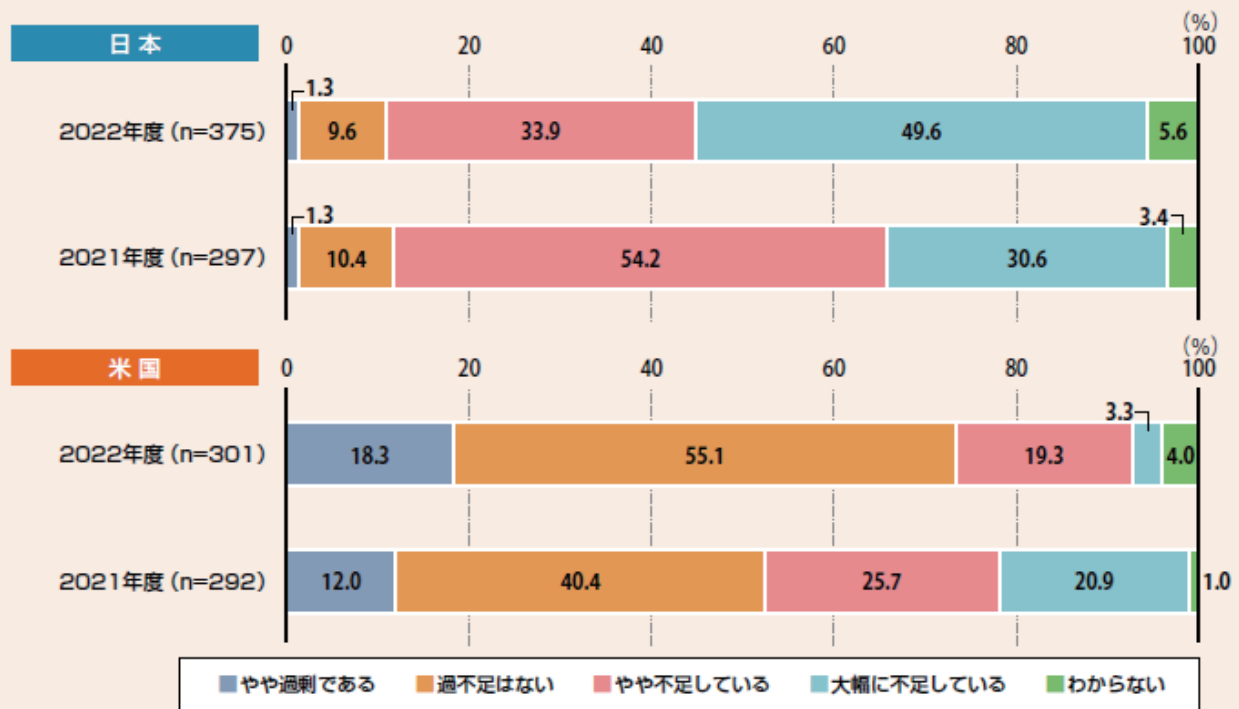
Sub-Factors	2019	2020	2021	2022	2023
Talent	46	46	47	50	49
Training & education	19	18	21	21	21
Scientific concentration	11	11	13	14	15

Talent	Rank	Training & education	Rank	Scientific concentration	Rank
Educational assessment PISA - Math	05	Employee training	35	Total expenditure on R&D (%)	06
▷ International experience	64	Total public expenditure on education	53	Total R&D personnel per capita	20
Foreign highly skilled personnel	54	Higher education achievement	06	Female researchers	57
Management of cities	09	▶ Pupil-teacher ratio (tertiary education)	03	R&D productivity by publication	16
▷ Digital/Technological skills	63	Graduates in Sciences	39	Scientific and technical employment	39
Net flow of international students	27	Women with degrees	06	High-tech patent grants	06
				Robots in Education and R&D	06

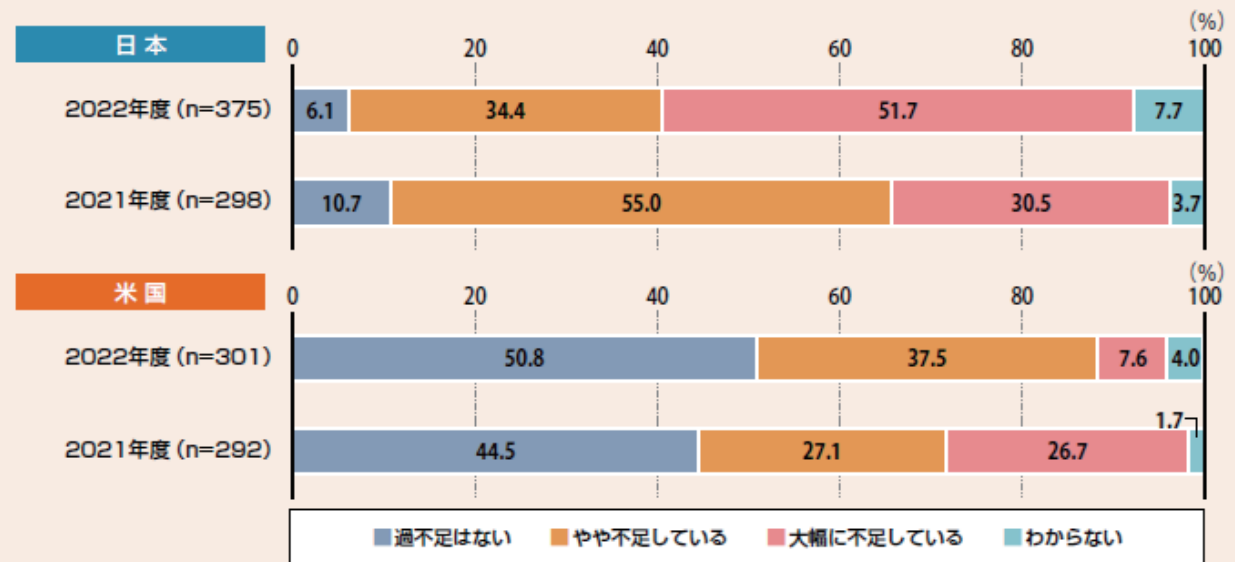
出典: IMD「World Digital Competitiveness Ranking 2023」

資料3 DX 推進人材の「質」と「量」の確保の日米比較

図表4-3 DXを推進する人材の「量」の確保



図表4-5 DXを推進する人材の「質」の確保



出典：独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)「DX 白書 2023」

資料4 デジタル田園都市国家構想基本方針

2-3. 構想実現に向けた取組方針（デジタル人材の育成・確保）

◎重要業績評価指標（KPI）

- ・2026年度末までに、デジタル推進人材230万人育成を目指す。

- デジタル田園都市国家構想を実現するため、全ての労働人口がデジタルリテラシーを身に付け、デジタル技術を活用できるようにするとともに、専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決を牽引する人材を「デジタル推進人材」として、2026年度末までに230万人育成を目指す。加えて、「デジタル人材地域還流戦略パッケージ」に基づき、人材の地域への還流を促進する。また、「女性デジタル人材育成プラン」に基づく取組を推進する。

①デジタル人材育成プラットフォームの構築

- ・デジタルスキル標準の設定
 - 全ビジネスパーソン向け共通に求められる学びの指針となる「DXリテラシー標準」を本年3月末に作成。
 - 年内に、DX推進人材向けのデジタルスキル標準を作成。
- ・デジタルスキル標準に紐づける形での教育コンテンツの整備
 - 民間事業者や大学等が提供する様々な教育コンテンツを提示。
- ・地方におけるDX促進活動支援
 - 地域の企業・産業のDXに必要なデジタル人材を育成・確保すべく、実践的な学びの場の提供等を実施。

②職業訓練のデジタル分野の重点化

- ・公共職業訓練、求職者支援訓練、教育訓練給付におけるデジタル分野の重点化
 - IT分野の資格取得を目指す訓練コースの訓練委託費等の上乗せ等によりデジタル分野の重点化を実施。
- ・人材開発支援助成金の拡充
 - IT技術の知識・技能を習得させる訓練を高率助成に位置づけること等によりデジタル人材の育成を推進。
- ・3年間で4000億円規模の施策パッケージの創設による人材育成等の推進
 - 人材開発支援助成金や教育訓練給付とも連携して、企業や労働者のニーズに合ったデジタル人材の育成・確保の取組を実施。

③高等教育機関等におけるデジタル人材の育成

- ・数理・データサイエンス・AI教育の推進
 - 大学・高専における数理・データサイエンス・AI教育のうち、優れた教育プログラムを国が認定することで取組を促進。
 - 全国の大学等による「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」を形成し、各地域ブロックの代表校を中心に、各地域における数理・データサイエンス・AI教育を促進。
- ・リカレント教育の推進
 - 大学・専門学校等が自治体や企業等と連携してDXなど、成長分野に関してリテラシーレベルの能力取得・リスキリングを実施。

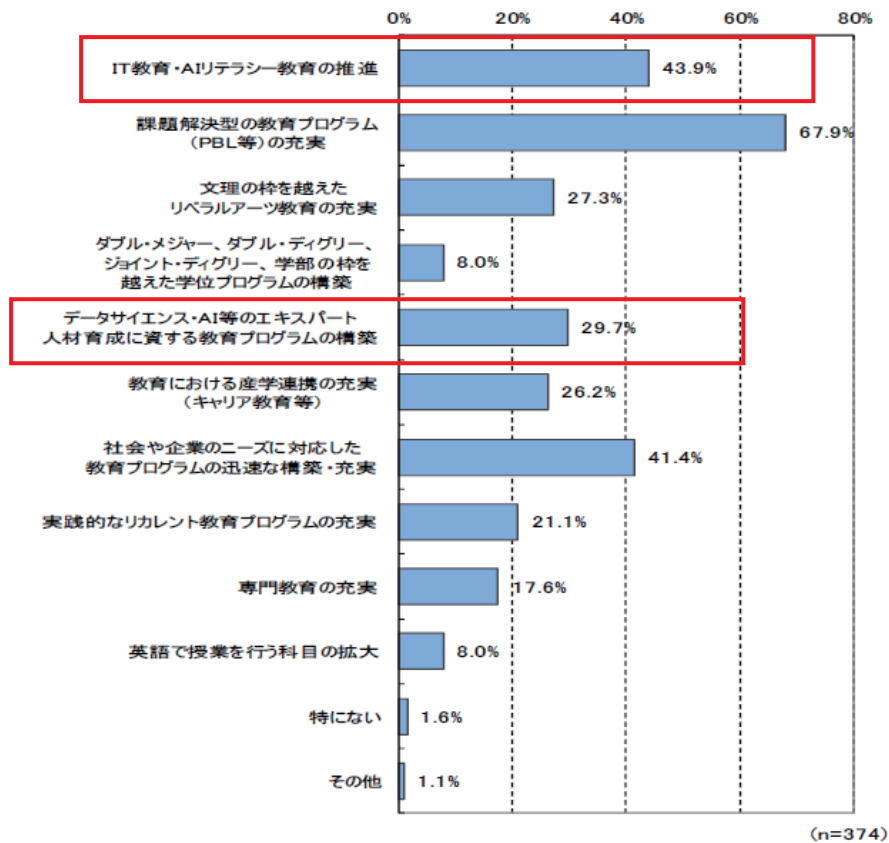
④デジタル人材の地域への還流促進

- ・「デジタル人材地域還流戦略パッケージ」に基づき、人材の地域への還流を促進

出典：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局「デジタル田園都市国家構想基本方針について（令和4年6月）」より抜粋

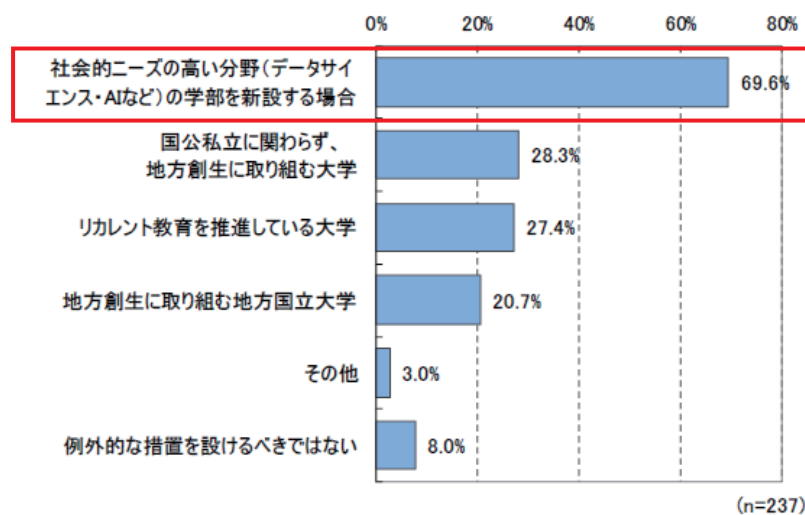
資料5 産業界が大学に求める、優先的に取り組むべき教育改革

＜教育プログラム面の改革＞（3つまで回答可）



➡ ＜例外的に定員増を認めてもよいケース（注1）＞

（複数回答可）



注1：大学入学定員について、「基本的に、定員を削減すべき」とおよび「基本的に、現状水準の定員を維持すべき」と回答した企業に限定して調査

出典：一般社団法人日本経済団体連合会「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」

第3 基本的な考え方

1 基本理念

県政のあらゆる分野において、**従来の仕組みや仕事の進め方を、既成概念にとらわれず、県民目線で見直す**とともに、**デジタル技術やデータを効果的に活用し、新たな価値を創出することで、復興・再生と地方創生を切れ目なく進め、県民一人一人が豊かさや幸せを実感できる県づくりを実現する。**

2 基本目標

行政のデジタル変革(DX)

- 職員の意識改革と行動変容
- デジタル県庁の実現

【市町村支援・連携】

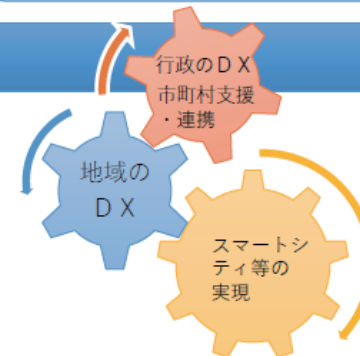
- 地域課題の解決等に向けたDX推進
- 個々の実情に応じた伴走支援
- スマートシティ等の取組支援

地域のデジタル変革(DX)

- 県民、企業等へのDXの浸透
- DXから県民、企業等を取り残さない
- スマートシティ等の取組と結び付け

3 デジタル変革(DX)の進め方

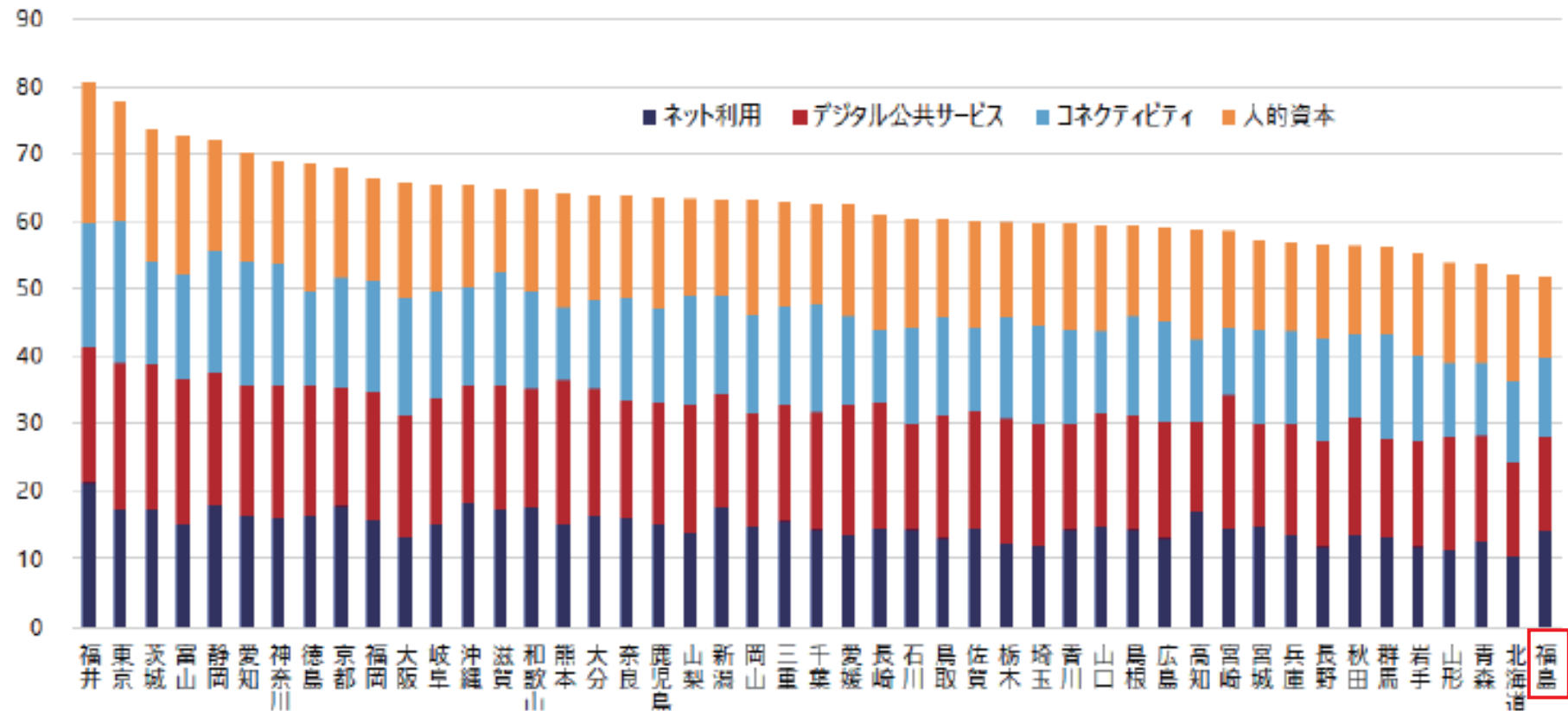
- | | | |
|-------|-------------------|------------|
| ステップ1 | ● 行政のDXの推進 | ● 市町村支援・連携 |
| ステップ2 | ● 地域のDXの推進 | |
| ステップ3 | ● スマートシティ等の実現・横展開 | |



出典：福島県「福島県デジタル変革(DX)推進基本方針(令和3年9月)」概要版より抜粋

資料7 福島県のデジタル活用状況

図表2：都道府県別 DCI スコア（2022 年）



【参考資料2：都道府県別 DCI（2022 年）】

ID	都道府県	ネット利用	デジタル公共 サービス	コネクティビ ティ	人的資本	DCI (2022)
1	北海道	10.3	13.9	12.0	16.0	52.2
2	青森	12.4	15.8	10.8	14.7	53.6
3	岩手	11.8	15.8	12.6	15.3	55.4
4	宮城	14.8	15.2	14.0	13.1	57.1
5	秋田	13.4	17.6	12.1	13.4	56.5
6	山形	11.2	16.8	11.0	14.8	53.8
7	福島	13.9	14.0	11.8	12.2	51.9
8	茨城	17.3	21.5	15.4	19.3	73.5
9	栃木	12.3	18.3	15.1	14.2	59.9
10	群馬	13.2	14.4	15.6	13.0	56.2
11	埼玉	12.0	18.0	14.5	15.2	59.6
12	千葉	14.3	17.5	15.8	15.1	62.7
13	東京	17.3	21.7	21.3	17.6	77.8
14	神奈川	16.0	19.6	18.0	15.2	68.8
15	新潟	17.5	16.9	14.6	14.2	63.2
16	富山	14.9	21.7	15.5	20.5	72.6
17	石川	14.3	15.6	14.1	16.2	60.3
18	福井	21.1	20.3	18.3	20.9	80.6
19	山梨	13.6	19.1	16.1	14.6	63.4
20	長野	11.7	15.8	15.0	14.0	56.5
21	岐阜	14.9	18.8	15.8	15.8	65.3
22	静岡	17.9	19.5	18.4	16.4	72.1
23	愛知	16.1	19.6	18.4	15.9	70.0
24	三重	15.6	17.2	14.8	15.5	63.0
25	滋賀	17.3	18.3	16.7	12.6	64.9
26	京都	17.6	17.8	16.2	16.2	67.9
27	大阪	13.4	18.0	17.2	17.4	66.0
28	兵庫	13.5	16.5	13.7	13.3	57.0
29	奈良	15.9	17.5	15.2	15.2	63.9
30	和歌山	17.4	17.9	14.5	15.1	64.8

ID	都道府県	ネット利用	デジタル公共 サービス	コネクティビ ティ	人的資本	DCI (2022)
31	鳥取	12.9	18.2	14.6	14.6	60.3
32	島根	14.3	16.8	14.8	13.4	59.3
33	岡山	14.7	16.8	14.7	16.9	63.2
34	広島	13.0	17.1	15.1	13.8	59.1
35	山口	14.8	16.8	12.3	15.6	59.4
36	徳島	16.2	19.5	14.0	18.9	68.7
37	香川	14.2	15.7	14.1	15.6	59.6
38	愛媛	13.4	19.4	13.1	16.7	62.5
39	高知	16.9	13.4	12.1	16.5	58.9
40	福岡	15.8	19.0	16.2	15.3	66.4
41	佐賀	14.5	17.6	12.2	15.9	60.1
42	長崎	14.6	18.7	10.7	16.8	60.8
43	熊本	15.0	21.3	10.7	17.1	64.1
44	大分	16.1	19.1	13.2	15.5	64.0
45	宮崎	14.4	19.7	10.1	14.5	58.7
46	鹿児島	14.9	18.4	13.7	16.5	63.5
47	沖縄	18.3	17.5	14.3	15.2	65.3

出典：野村総合研究所「DCIにみる都道府県別デジタル度」

資料8 福島県のデジタル人材の求人割合

福島県のデジタル人材の求人割合 - 福島県全体の業種別の求人割合及び掲載件数の推移

2018年12月31日～2024年02月25日

市区町村

業種

母集団

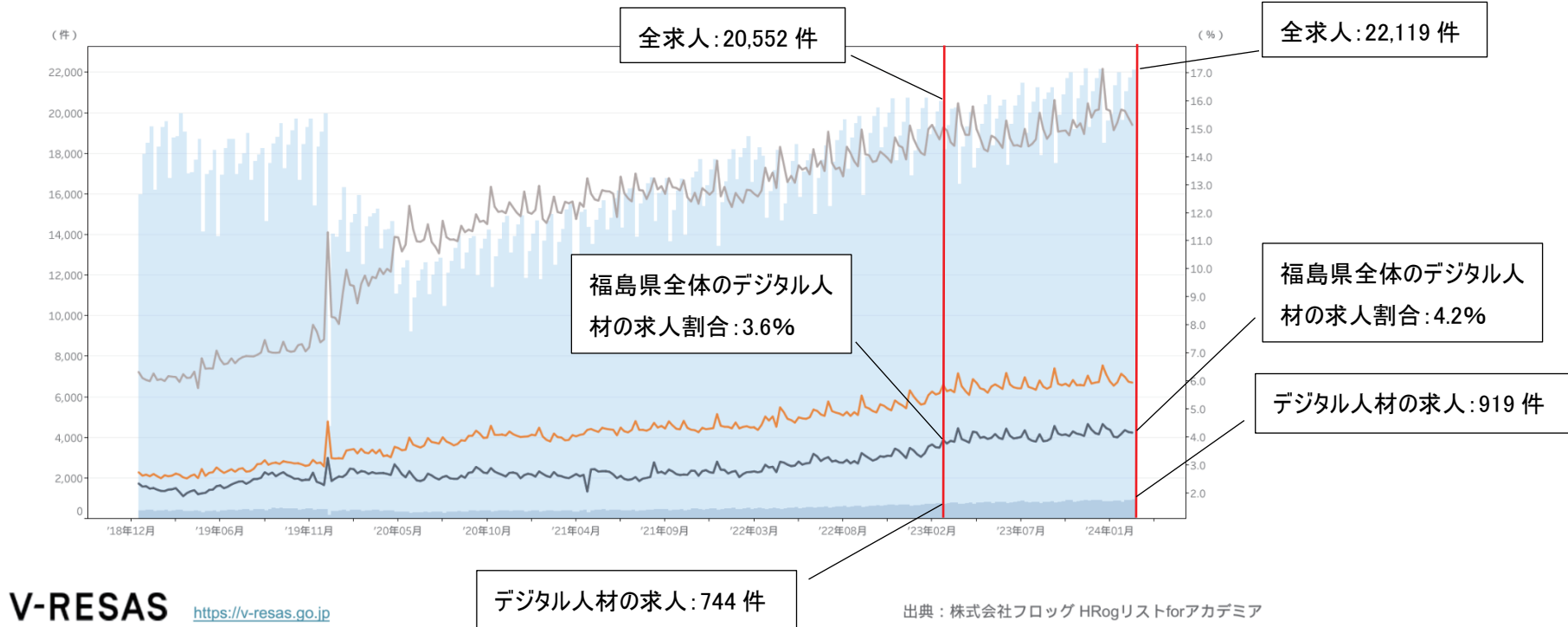
福島県全体

全業種

全体

折れ線グラフ（デジタル人材の求人割合）： ■ 市区町村 ■ 福島県 ■ 東北ブロック ■ 全国

棒グラフ（掲載件数）： ■ デジタル人材の求人情報 ■ 全求人情報

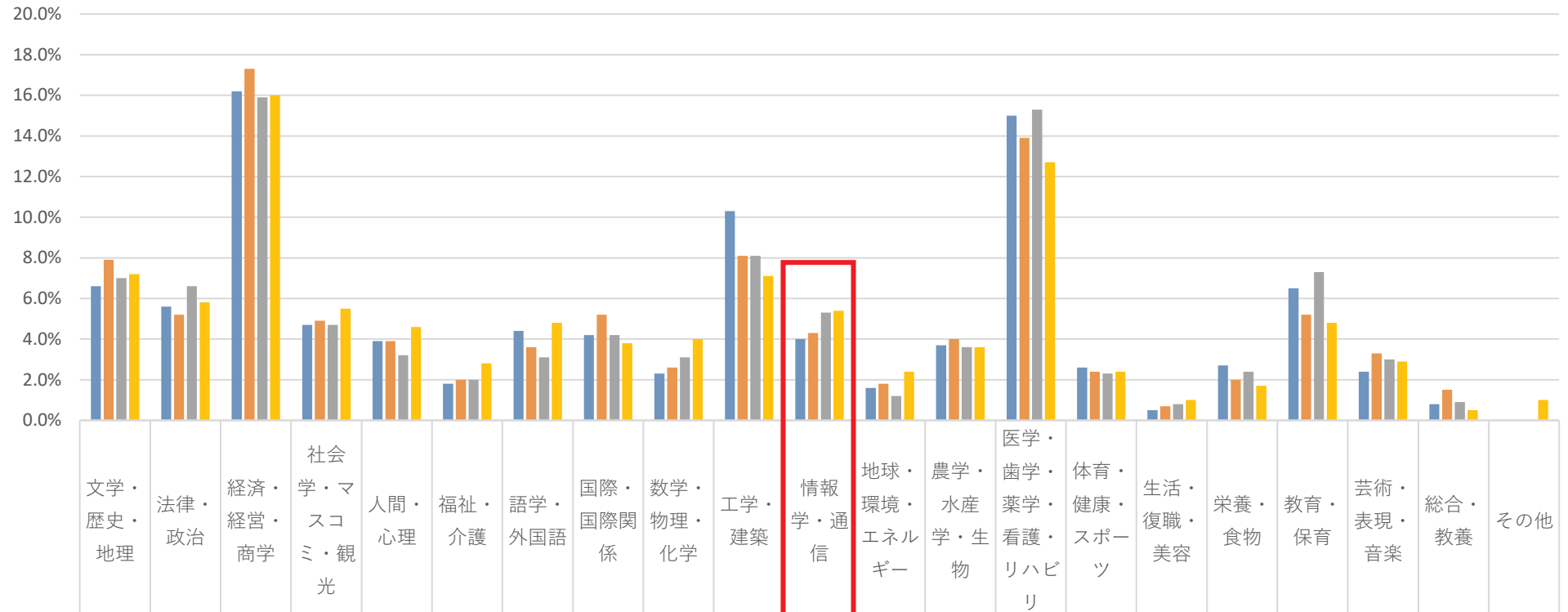


出典：V-RESAS (<https://v-resas.go.jp/prefectures/07#digital-hr>) (2024年3月14日アクセス)、福島県のデジタル人材の求人割合

資料9 高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査

進学先の学部・学科の分野系統(大学)

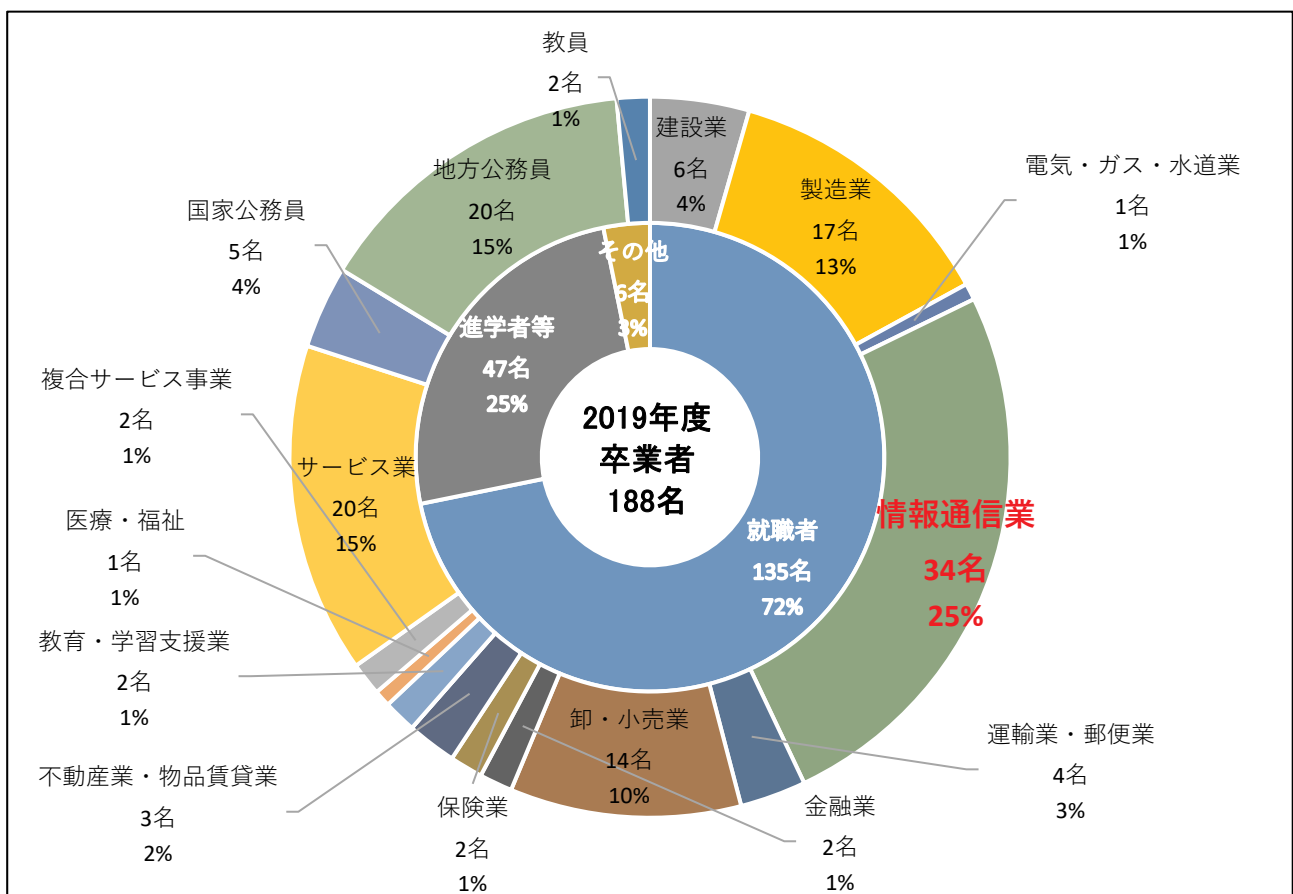
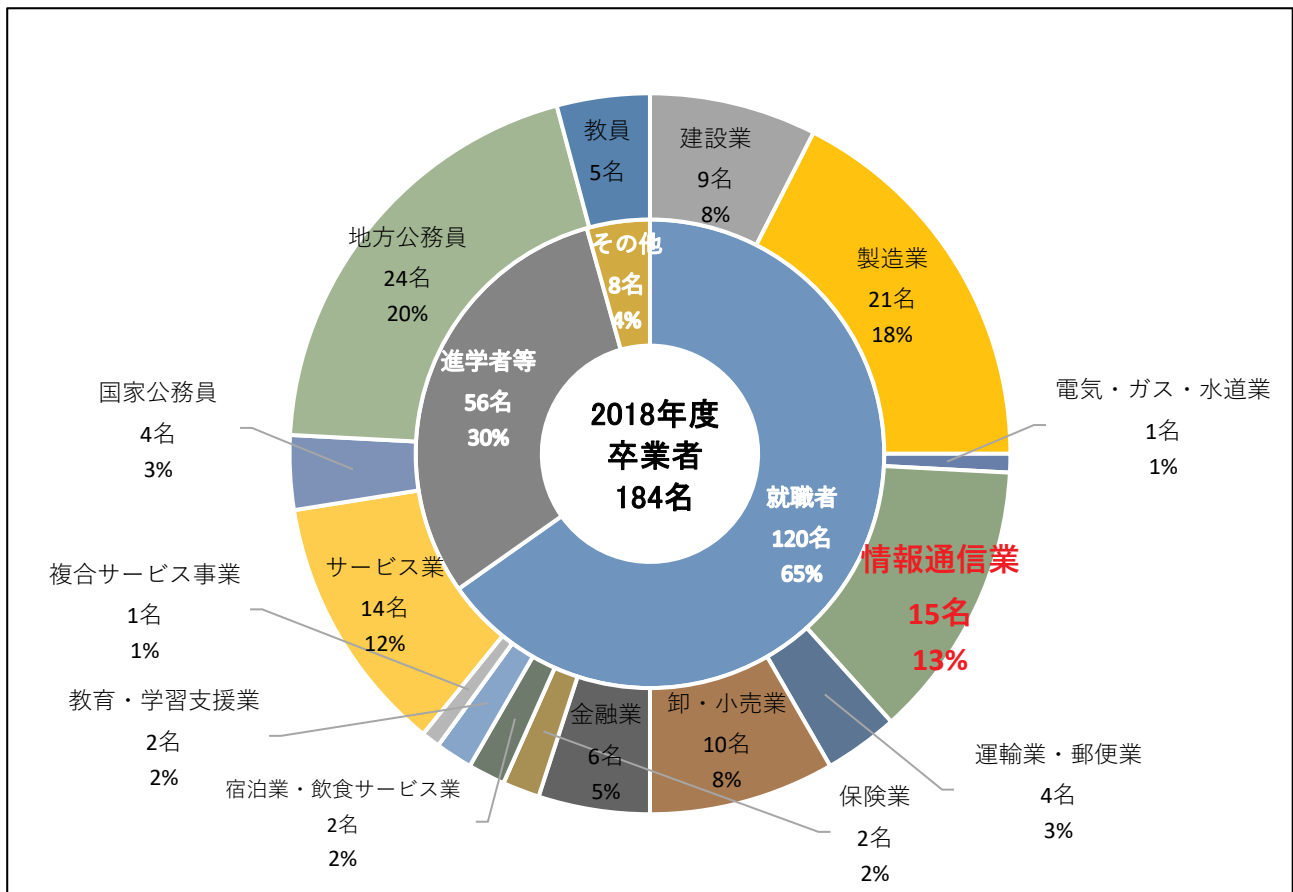
■ 2020調査 ■ 2021調査 ■ 2022調査 ■ 2023調査

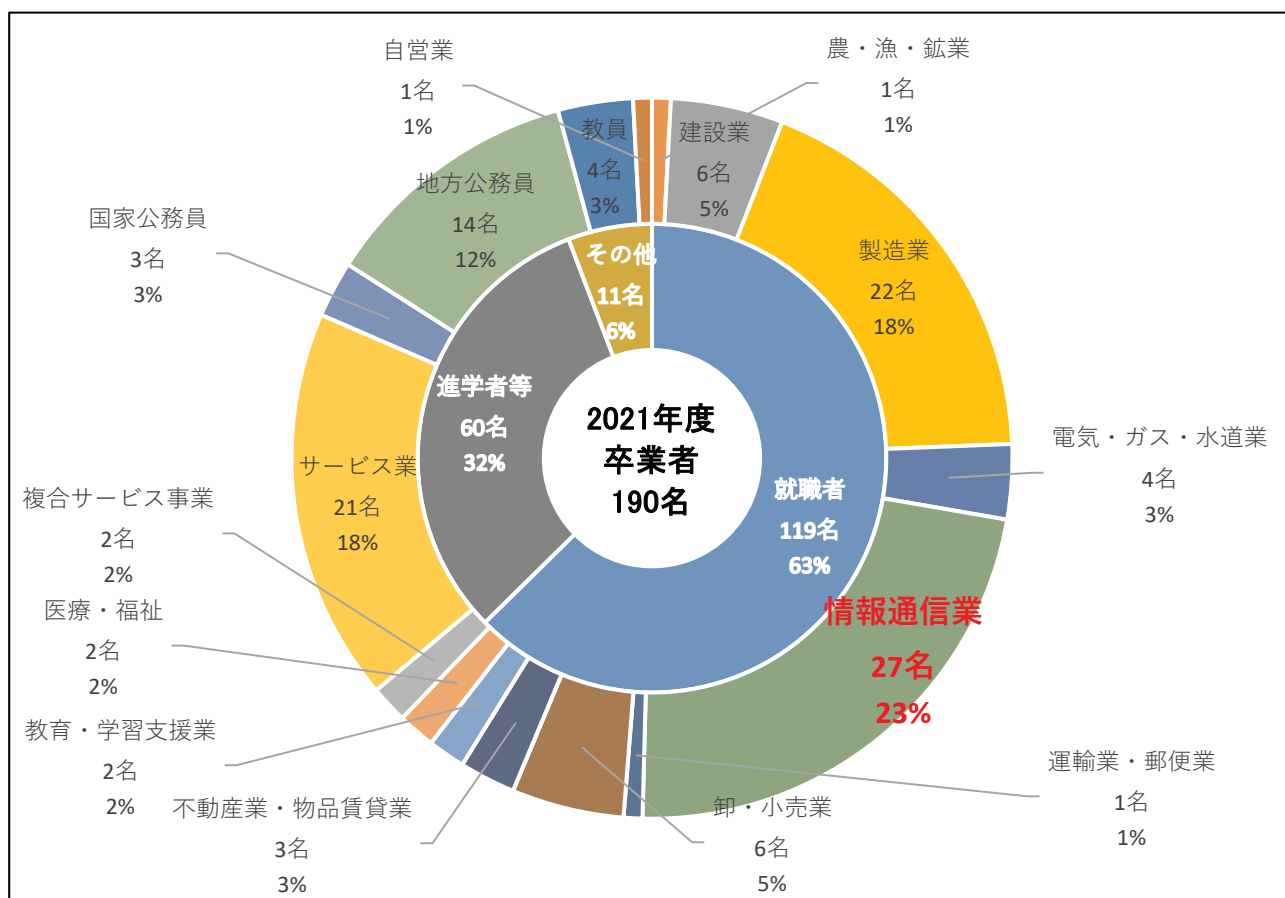
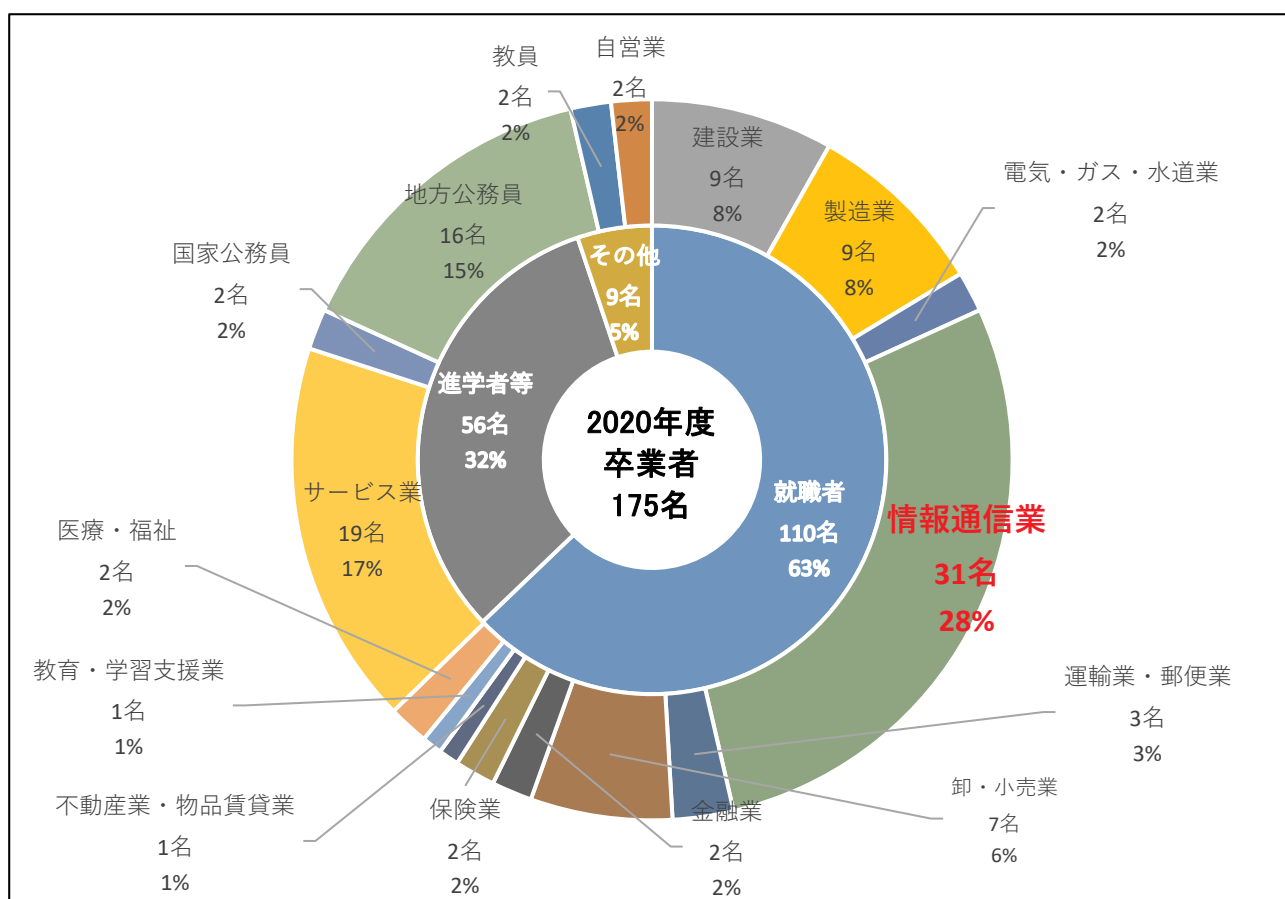


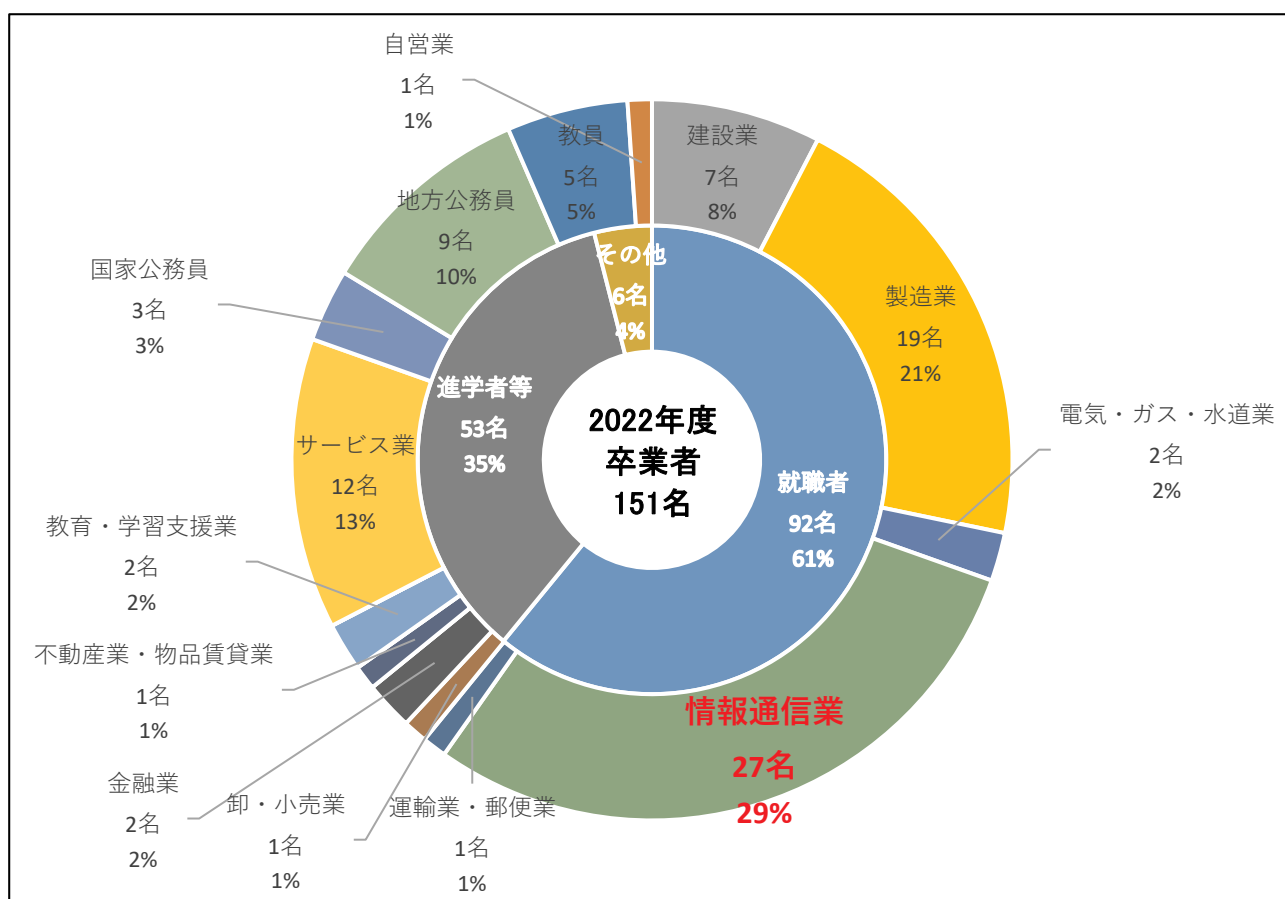
■ 2020調査	6.6%	5.6%	16.2%	4.7%	3.9%	1.8%	4.4%	4.2%	2.3%	10.3%	4.0%	1.6%	3.7%	15.0%	2.6%	0.5%	2.7%	6.5%	2.4%	0.8%	0
■ 2021調査	7.9%	5.2%	17.3%	4.9%	3.9%	2.0%	3.6%	5.2%	2.6%	8.1%	4.3%	1.8%	4.0%	13.9%	2.4%	0.7%	2.0%	5.2%	3.3%	1.5%	0
■ 2022調査	7.0%	6.6%	15.9%	4.7%	3.2%	2.0%	3.1%	4.2%	3.1%	8.1%	5.3%	1.2%	3.6%	15.3%	2.3%	0.8%	2.4%	7.3%	3.0%	0.9%	0
■ 2023調査	7.2%	5.8%	16.0%	5.5%	4.6%	2.8%	4.8%	3.8%	4.0%	7.1%	5.4%	2.4%	3.6%	12.7%	2.4%	1.0%	1.7%	4.8%	2.9%	0.5%	1.0%

出典: マイナビ進学総合研究所「高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査(2019～2022 年度調査)」報告書(対象: 2020 年3月卒高校生～2023 年3月卒高校生)より作成

資料 10 理工学群卒業者の進路状況(2018～2022 年度)







資料11 教育課程等の概要

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学群共生システム理工学類)																		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹 （助手以外を除く） 教員			
【基盤教育科目】																		
接続領域	ブトス 科アタ 目ツリ	スタートアップセミナー 社会とデータ科学の基礎 小計（2科目）	1前 1前 —	— — —	2 2 4	— — 0	— — 0	○ — —	○ — —	5 2 7	2 — 2	— — 0	— — 0	— — 0	3 3 3	7クラス編成、一部共同		
	科メマ 目ンネ トジフ	キャリア形成論 健康運動科学実習 小計（2科目）	1前 1前 —	— — —	2 1 3	— — 0	— — 0	○ — —	— ○ —	1 — 1	— — 0	— — 0	— — 0	— — 0	4 4 4	4クラス編成		
	ンケミ 科ルニ 目シニ ヨゴ	英語AⅠ 英語AⅡ 小計（2科目）	1前・後 1前・後 —	— — —	2 2 4	— — 0	— — 0	○ ○ —	— — —	— — 0	— — 0	— — 0	— — 0	— — 0	12 12 20	12クラス編成 12クラス編成		
	学術基礎科目・人文科学分野	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 言語・文学Ⅰ 言語・文学Ⅱ 言語・文学Ⅲ 美術 音楽 教育と文化 倫理学 ことばの仕組み 精神疾患とその治療 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 小計（13科目）	1後 1後 1後 1後 1前 1後 1後 1前 1後 1後 1前 1後 1後 1後 —	— — — — — — — — — — — — — — —	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 26	— — — — — — — — — — — — — — 0	— — — — — — — — — — — — — — 0	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ —	— — — — — — — — — — — — — — —	1 — — — — — — — — — — — — — — 1	— — — — — — — — — — — — — — 0	— — — — — — — — — — — — — — 0	— — — — — — — — — — — — — — 0	1 1 1 3 2 1 4 4 1 1 1 1 1 21	隔年 オムニバス 隔年、オムニバス 隔年、オムニバス 隔年、オムニバス オムニバス 隔年 隔年			
教養領域	学術基礎科目・社会科学分野	日本国憲法 市民と法 社会論 歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ 地域論Ⅰ 地理学Ⅰ 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 農業と人間 ジェンダー学入門 政治学 経営学 小計（13科目）	1後 1前 1後 1後 1後 1前 1後 1前 1前 1後 1前 1前 1後 1後 —	— — — — — — — — — — — — — — —	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 26	— — — — — — — — — — — — — — 0	— — — — — — — — — — — — — — 0	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ —	— — — — — — — — — — — — — — —	— — — — — — — — — — — — — — 0	— — — — — — — — — — — — — — 0	— — — — — — — — — — — — — — 0	— — — — — — — — — — — — — — 0	2 1 1 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 15	2クラス編成 隔年 隔年 隔年、オムニバス 隔年、オムニバス 隔年 隔年 隔年 隔年 隔年 隔年 隔年			
	学術基礎科目・自然科学分野	物質の科学 生命の科学 環境の科学Ⅰ 環境の科学Ⅱ ちからとうごき 食と健康 食品の機能 人体の構造と機能及び疾病(医学概論) マセマティカル・サイエンス 小計（9科目）	1前 1後 1後 1後 1後 1前 1前 1後 1後 1後 —	— — — — — — — — — — — —	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 18	— — — — — — — — — — — 0	— — — — — — — — — — — 0	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ —	— — — — — — — — — — — —	1 3 1 5 — — — — — — — 10	1 — — — — — — — — — — — 3	— — — — — — — — — — — 0	— — — — — — — — — — — 0	— — — — — — — — — — — 3	隔年 隔年、オムニバス 隔年 隔年、オムニバス			
	キャリア設計科目	キャリアモデル学習 知的財産の基礎知識 アントレプレナーシップ概論 ワーキングシミュレーション データサイエンス実践演習 小計（5科目）	2前 2後 2後 2後 2後 —	— — — — — —	2 2 2 2 2 8	— — — — — 0	— — — — — —	○ ○ ○ — ○ —	— — — ○ ○ —	8 — — — — 8	— — — — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	2 1 1 1 2 7	オムニバス、一部共同 オムニバス		
	科運健 目動康・	スポーツ実習 小計（1科目）	1後 —	— —	1 0	1 0	— —	— —	— ○	— —	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	3 3		

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(理工学群共生システム理工学類)																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員(助手を除く)		
教養領域	外国語科目	英語 B I	2前・後			2		○									11	11クラス編成
		英語 B II	2前・後			2		○									11	11クラス編成
		応用英語 X I	1前			1		○									1	
		応用英語 X II	1後			1		○									1	
		応用英語 X III	1前			1		○									1	
		応用英語 X IV	1後			1		○									1	
		応用英語 X V	1前			1		○									1	
		応用英語 X VI	1後			1		○									1	
		応用英語 X VII	1前			1		○									1	
		応用英語 X VIII	1後			1		○									1	
		応用英語 X IX	1前			1		○									1	
		応用英語 X X	1後			1		○									1	
		ドイツ語基礎 I	1前			1		○									3	3クラス編成
		ドイツ語基礎 II	1後			1		○									3	3クラス編成
		ドイツ語基礎 (特設) I	1前			1		○									2	2クラス編成
		ドイツ語基礎 (特設) II	1後			1		○									2	2クラス編成
		ドイツ語応用 I	2前			1		○									1	
		ドイツ語応用 II	2後			1		○									1	
		フランス語基礎 I	1前			1		○									3	3クラス編成
		フランス語基礎 II	1後			1		○									3	3クラス編成
		フランス語基礎 (特設) I	1前			1		○									1	
		フランス語基礎 (特設) II	1後			1		○									1	
		フランス語応用 I	2前			1		○									2	2クラス編成
		フランス語応用 II	2後			1		○									2	2クラス編成
		中国語基礎 I	1前			1		○									7	7クラス編成
		中国語基礎 II	1後			1		○									7	7クラス編成
		中国語基礎 (特設) I	1前			1		○									3	3クラス編成
		中国語基礎 (特設) II	1後			1		○									3	3クラス編成
		中国語応用 I	2前			1		○									5	5クラス編成
		中国語応用 II	2後			1		○									5	5クラス編成
		ロシア語基礎 I	1前			1		○									2	2クラス編成
		ロシア語基礎 II	1後			1		○									2	2クラス編成
		ロシア語基礎 (特設) I	1前			1		○									1	
		ロシア語基礎 (特設) II	1後			1		○									1	
		ロシア語応用 I	2前			1		○									2	2クラス編成
		ロシア語応用 II	2後			1		○									2	2クラス編成
		韓国朝鮮語基礎 I	1前			1		○									3	3クラス編成
		韓国朝鮮語基礎 II	1後			1		○									3	3クラス編成
		韓国朝鮮語基礎 (特設) I	1前			1		○									2	2クラス編成
		韓国朝鮮語基礎 (特設) II	1後			1		○									2	2クラス編成
		韓国朝鮮語応用 I	2前			1		○									2	2クラス編成
		韓国朝鮮語応用 II	2後			1		○									2	2クラス編成
		小計 (42科目)		—	—	0	44	0	—			0	0	0	0	0	0	43
日本語科目	日本語 I A	1前			1		○									1		
	日本語 I B	1前			1		○									1		
	日本語 II A	1後			1		○									1		
	日本語 II B	1後			1		○									1		
	日本語 III A	2前			1		○									1		
	日本語 III B	2前			1		○									1		
	日本語 IV A	2後			1		○									1		
	日本語 IV B	2後			1		○									1		
小計 (8科目)		—	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	0	1		
日本事情	日本事情 I	1前			2		○									1	隔年	
	日本事情 II	1後			2		○									1	隔年	
	日本事情 III	1前			2		○									1	隔年	
	日本事情 IV	1後			2		○									1	隔年	
	小計 (4科目)		—	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	0	1	
科情目報	情報リテラシー	1前・後			2		○					1				5	8クラス編成	
	小計 (1科目)	—	—	0	2	0	—			0	1	0	0	0	0	5		

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(理工学群共生システム理工学類)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員(助手を除く)		
問題探究領域	問題探究科目	哲学カフェ	1前		2		○									1	隔年
		NPO論	1後		2		○									1	
		福島のブランド農業	1前		2		○									2	オムニバス
		震災農村復興論	1後		2		○									2	
		大学で学ぶ	1前		2		○									1	オムニバス
		評価論入門	1後		2		○									1	
		ふくしま未来学入門Ⅰ	1前		2		○				1					9	オムニバス
		ふくしま未来学入門Ⅱ	1後		2		○									8	
		ボランティア論	1前		2		○									1	オムニバス
		むらの大学	1後		2			○								2	
		むらの大学（合宿版）	1後		1				○							2	隔年
		生活探究演習	1前		2			○								3	
		環境放射能学入門	1後		2		○			1						7	オムニバス
		データ分析入門	1後		2		○									2	
		暮らしと仕事と大学生	1前		2		○									4	オムニバス
		地域と世界の未来をつくる科学	1後		2		○			3	1						
		STEAM実践学修	1前		2		○			1						5	オムニバス
		災害復興学	1後		2		○									1	
		人・食・環境・生物の共生関係	1後		2		○									11	オムニバス
		SDGsと経営	1前		2		○									1	
		思想史から考える政治	1後		2		○									1	1
		福島の地域データ	1前		2		○									1	
		地方と若者	1前		2		○									1	1
		大学的福島ガイド	1後		2		○									1	
	小計（24科目）	—	—	0	47	0	—	—	—	5	2	0	0	0	52		
	ナ問題探究領域	グ修自 ラプ主 ムロ学	自主学修プログラム	1前		1			○	1							
		小計（1科目）	—	—	0	1	0	—	—	1	0	0	0	0	0		
		ナ究問 セミ探	問題探究セミナーⅠ	1後	2				○	5	2						7クラス編成、一部共同
	小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	5	2	0	0	0	0			
【専門教育科目】																	
学類共通領域	科共学 目通類	共生の科学Ⅰ	1前	○	2			○			1						
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	1	0	0	0	0	0		
		域接 科続 目領	接続数学	1前	○	2			○			2					
	接続理科		1前	○	2			○			2	2					
	小計（2科目）		—	—	4	0	0	—	—	2	4	0	0	0	0		
	学類 基 礎 科 目	数学Ⅰ	1前	○	2			○			1	1					2クラス編成
		プログラミング基礎	1後	○	2			○			1					1	
		物理学Ⅰ	1前	○		2			○		1						オムニバス
		化学Ⅰ	1前	○		2			○		3	2					
		生物学	1前	○		2			○		1						オムニバス
		数学Ⅱ	1後	○		2			○		1						
		数学Ⅲ	1後	○		2			○			1					オムニバス
		物理学Ⅱ	1後	○		2			○		1						
		化学Ⅱ	1後	○		2			○		3	2					オムニバス
		地球科学	1後	○		2			○		2						
		環境放射能学概論	2前	○		2			○		1					7	オムニバス
		小計（11科目）	—	—	4	18	0	—	—	14	5	0	0	0	8		
	科専学 目門類	共生の科学Ⅱ	3前	○	2			○		1							
		小計（1科目）	—	—	2	0	0	—	—	1	0	0	0	0	0		

教 育 課 程 等 の 概 要																
（理工学群共生システム理工学類）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基幹へ 助手を 除く 教員	
コース 領域	情報理工学基礎コース （情報理工学基礎科目）	線形写像と幾何Ⅰ	2前	○	2		○								1	2クラス編成
		集合と位相Ⅰ	2前	○	2		○			1						
		情報科学概論	2前	○	2		○				1					
		計算機システム論	2前	○	2		○								1	
		データベースシステム	2後	○	2		○			1						
		アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	2後	○	2		○			1						
		小計（6科目）	—	—	12	0	0	—		3	1	0	0	0	2	オムニバス
	情報理工学コース （コース専門科目）	基礎解析学Ⅰ	2前	○	2		○			1					1	
		離散数学	2前	○	2		○								1	
		情報社会と情報倫理	2前	○	2		○								1	
		基礎解析学Ⅱ	2後	○	2		○								1	
		線形写像と幾何Ⅱ	2後	○	2		○			1					1	
		集合と位相Ⅱ	2後	○	2		○				1					
		解析学Ⅰ	2後	○	2		○				1					
		ソフトウェア設計開発論	2後	○	2		○								1	
		プログラミング言語論	2後	○	2		○								1	
		基礎解析学Ⅲ	3前	○	2		○				1					
		計画と数理	3前	○	2		○								1	
		マルチメディアシステム論	3前	○	2		○								1	
		形式言語とコンパイラ	3前	○	2		○			1						
		ネットワークシステム	3前	○	2		○				1					
		経営工学	2前	○	2		○			1						
		生産管理概論	2前	○	2		○				1					
		流通管理概論	2前	○	2		○			1						
		産業・社会調査法	2前	○	2		○			1						
		経営システム概論	2前	○	2		○			4	2					
		応用オペレーションズ・リサーチ	2後	○	2		○			1						
		品質管理	2後	○	2		○				1					
		サプライチェーンマネジメント	2後	○	2		○			1						
		製品開発概論	2後	○	2		○			1						
		循環型産業論	2後	○	2		○				1					
		エコロジカル経済学	3前	○	2		○				1					
		数理モデリング	2前		2		○			1						
		人間工学	2後		2		○			1						
		解析学Ⅱ	3前		2		○				1					
		アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	3前		2		○			1						
		情報と職業	3前		2		○								1	
		情報科教育法Ⅰ	3前		2		○								1	
		情報科教育法Ⅱ	3前		2		○								1	
		デジタル信号処理	3前		2		○			1						
		最適化と数理	3後		2		○								1	
		人工知能と知識処理	3後		2		○			1						
		情報理論	3後		2		○				1					
		知的財産権論	4前		2		○			1						
		小計（37科目）	—	—	0	74	0	—		9	5	0	0	0	6	2クラス編成 オムニバス オムニバス オムニバス 5クラス編成、一部共同
実践理工学コース （実践理工学コース）	問題探究セミナーⅡ	2後	○	2				○		7	5				3	
	プログラミングⅠ	2前	○	2			○			1					1	
	プログラミングⅡ	2後	○	2			○			2						
	プログラミングⅢ	3前	○	2			○								1	
	数理・情報学ゼミⅠ	3前	○	2			○				2				1	
	数理・情報学ゼミⅡ	3後	○	2			○				2					
	応用情報学演習	3後	○	2				○		1						
	経営システム演習Ⅰ	2後	○	2				○		4	2					
	経営システム演習Ⅱ	3前	○	2				○		4	2					
	小計（9科目）	—	—	6	12	0	—	—		7	5	0	0	0	3	

教 育 課 程 等 の 概 要																
（理工学群共生システム理工学類）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹へ助手を除く教員	
コース領域	基礎コース（基礎コース）	数理モデリング	2前	○	2		○			1						
		材料力学	2前	○	2		○				1					
		電気回路	2前	○	2		○				1					
		制御工学	2後	○	2		○			1						
		人間工学	2後	○	2		○			1						
		量子力学	2後	○	2		○			1						
		小計（6科目）	—	—	12	0	0	—	—	4	2	0	0	0	0	
	メカトロニクスコース（メカトロニクスコース）	情報科学概論	2前		2		○			1	1					2クラス編成
		基礎物性物理	2前	○	2		○			1						
		機構学	2前	○	2		○			1						
		神経・生理心理学	2後	○	2		○				1					
		電子回路	2後	○	2		○				1					
		計測工学	2後	○	2		○				1					
		流体力学	3前	○	2		○			1						
		デジタル信号処理	3前	○	2		○			1						
		統計力学	3前	○	2		○			1						
		医用工学	3前	○	2		○			1						
		熱力学	2前		2		○				1					
		材料工学	2前		2		○			1						
		計算機システム論	2前		2		○								1	
		基礎解析学Ⅰ	2前		2		○								1	
		線形画像と幾何Ⅰ	2前		2		○								1	
		物理化学	2前		2		○				1					
		アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	2後		2		○			1						
		線形画像と幾何Ⅱ	2後		2		○								1	
		機器分析	2後		2		○			2						オムニバス
		理科教育法Ⅰ	2後		2		○				1					
		理科教育法Ⅳ	2後		2		○			1						オムニバス
		解析学Ⅰ	2後		2		○				1					
		基礎解析学Ⅱ	2後		2		○								1	
		基礎解析学Ⅲ	3前		2		○				1					
		理科教育法Ⅱ	3前		2		○			1					1	オムニバス
		解析学Ⅱ	3前		2		○				1					
		放射線科学	3前		2		○			2	1					オムニバス
		心理学研究法	3前		2		○				1					
		理科教育法Ⅲ	3後		2		○								1	
		人工知能と知識処理	3後		2		○			1						
		知的財産権論	4前		2		○			1						
		小計（31科目）	—	—	0	62	0	—	—	11	9	0	0	0	5	
	メカトロニクス実践コース（メカトロニクス実践コース）	問題探究セミナーⅡ	2後	○	2			○		5	3					オムニバス
		物理学実験	2前	○	2				○	2	1					オムニバス
		物理・システム工学演習	2前	○	2				○	1						
		化学実験Ⅰ	2前		2				○	7	3					オムニバス
		プログラミングⅠ	2前		2		○			1					1	2クラス編成
		プログラミングⅡ	2後		2		○			2						
		CAD・機械加工実習	2後	○	2				○	2	1					オムニバス
		電子・生体工学実験	3前	○	2				○	1	2					オムニバス
		小計（8科目）	—	—	6	10	0	—	—	15	6	0	0	0	1	

—学則変更の趣旨（資料）—21—

教 育 課 程 等 の 概 要																
（理工学群共生システム理工学類）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹へ助手を除く教員	
環境 基礎 科目 （環境 システム コース）	水循環システム学概論	2前	○	2			○			1						オムニバス オムニバス
	環境計画論	2前	○	2			○			1						
	環境保全論	2後	○	2			○			1	1					
	生物・地球環境システム概論	2後	○	2			○			9	2				1	
	小計（4科目）	—	—	8	0	0	—			9	2	0	0	0	1	
環境 システム コース （コース 専門科目）	情報科学概論	2前			2		○				1					2クラス編成
	気象学	2前	○		2		○				1					
	地質学概論	2前	○		2		○			1						
	生物多様性概論	2前	○		2		○			1						オムニバス
	分析化学	2前			2		○			1						
	基礎無機化学	2前			2		○			1						
	基礎有機化学	2前			2		○				1					
	社会計画概論	2前	○		2		○			2						
	地下水盆管理学	2後	○		2		○			1						
	流域水文学	2後	○		2		○			1						
	生態学基礎	2後	○		2		○								1	
	保全遺伝学	2後	○		2		○				1					
	環境微生物学	2後	○		2		○			1						
	環境文化論	2後	○		2		○			1						オムニバス
	機器分析	2後			2		○			2						
	森林生態学	3前	○		2		○								1	
	水循環システム学	3前	○		2		○			1						
	サウンドスケープ	3前	○		2		○			1						
	環境衛生科学	2前			2		○			1						隔年
	熱力学	2前			2		○				1					
	生涯学習社会と学校・家庭・地域	2前～			2		○								1	
	博物館学概論	2前～			2		○								1	
	博物館教育論	2前～			2		○								1	
	博物館経営論	2前～			2		○								1	隔年
	博物館資料保存論	2前～			2		○								1	
	博物館資料論	2前～			2		○								1	
	博物館情報・メディア論	2前～			2		○								1	
	博物館展示論	2前～			2		○								1	
	社会情報分析	2後			2		○			1						オムニバス
	資源・エネルギー工学	2後			2		○			2						
	生化学	2後			2		○			1						
	理科教育法Ⅰ	2後			2		○				1					
	理科教育法Ⅳ	2後			2		○			1					1	
	解析学Ⅰ	2後			2		○				1					オムニバス
	循環型産業論	2後			2		○				1					
	理科教育法Ⅱ	3前			2		○			1					1	
	放射線科学	3前			2		○			2	1					
	再生可能エネルギーⅠ	3前			2		○			2						
	解析学Ⅱ	3前			2		○				1					隔年
	流体力学	3前			2		○			1						
	エコロジカル経済学	3前			2		○				1					
	生命環境の科学Ⅰ	3前～			2		○								1	
	理科教育法Ⅲ	3後			2		○								1	
	再生可能エネルギーⅡ	3後			2		○			1						
	小計（44科目）	—	—	0	88	0	—			16	8	0	0	0	7	

教 育 課 程 等 の 概 要																
（理工学群共生システム理工学類）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹へ助手以外の教員	
環境 シ ス テ ム コ ー ス （ コ ー ス 実 践 科 目 ）	問題探究セミナーⅡ	2後	○	2				○		5						オムニバス
	気象データ解析	2前	○		1			○			1					オムニバス
	社会計画演習	2後	○		2			○		2						オムニバス
	地球環境科学実験	2後・3前	○		2				○	2	1					オムニバス
	地域環境計画演習	3前	○		2			○		2						オムニバス
	土壌・水圏微生物学実験	3前	○		2				○	1						オムニバス
	保全生物学実験	3前	○		2				○	2					1	オムニバス
	水理学演習	3後	○		2			○		1						
	サイエンスライティング演習	4後	○		2			○			1					
	化学実験Ⅰ	2前			2				○	7	3					オムニバス
	プログラミングⅠ	2前			2		○			1					1	2クラス編成
	自然環境調査法	2前	○		1				○	1						
	森林調査法	2前	○		1				○						1	
	他大学野外実習Ⅰ（集中）	2前			1`2				○	3	1				1	5クラス編成
	他大学野外実習Ⅱ（集中）	2前			1`2				○	3	1				1	5クラス編成
	生物多様性保全実習	3前	○		1				○	1						
	地球環境調査法	3前	○		1				○	2						オムニバス
小計（17科目）		—	—	2	25～27	0		—		17	4	0	0	0	2	
演 習	演習Ⅰ	3後	○	2				○		32	21					
	演習Ⅱ	4前	○	2				○		32	21					
	小計（2科目）	—	—	4	0	0		—		32	21	0	0	0	0	
卒 業 研 究	卒業研究Ⅰ	4前	○	2				○		32	21					
	卒業研究Ⅱ	4後	○	2				○		32	21					
	小計（2科目）	—	—	4	0	0		—		32	21	0	0	0	0	
合計（355科目）		—	—	99	552 ～ 554	0		—		32	21	0	0	0	0	
学位又は称号		学士（理工学）		学位又は学科の分野					理学関係、工学関係							

教 育 課 程 等 の 概 要		
（理工学群共生システム理工学類）		
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法	授業期間等	
（卒業要件） 基盤教育科目34単位、専門教育科目80単位、自由選択科目10単位、合計124単位 ＜基盤教育科目＞ （接続領域）11単位（必修） 「スタートアップセミナー」2単位必修、「社会とデータ科学の基礎」2単位必修、「キャリア形成論」2単位必修、 「健康運動科学実習」1単位必修、「英語AⅠ」・「英語AⅡ」4単位必修 （教養領域）12単位（必修2単位、選択10単位） 学術基礎科目 人文科学分野から2単位選択、社会科学分野から2単位選択、自然科学分野から2単位選択 キャリア設計科目 「キャリアモデル学習」2単位必修 外国語科目 4単位選択 （問題探究領域）4単位（必修2単位、選択2単位） 「問題探究セミナーⅠ」2単位必修、問題探究科目から2単位選択 （教養領域・問題探究領域）上記の単位数に加え、教養領域、問題探究領域からさらに7単位選択 【情報理工学コース】 ＜基盤教育科目＞34単位（必修15単位、選択19単位） ＜専門教育科目＞80単位（必修38単位、選択42単位） （学類共通領域 学類共通科目）2単位（必修） （学類共通領域 接続領域科目）4単位（必修） （学類共通領域 学類基礎科目）14単位（必修4単位、選択10単位） 必修4単位 「物理学Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「生物学」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「物理学Ⅱ」、「化学Ⅱ」、「地球科学」、「環境放射能学概論」から10単位選択 （学類共通領域 学類専門科目）2単位（必修） （コース領域 コース基礎科目）12単位（必修） （コース領域 コース専門科目）28単位（選択） 「基礎解析学Ⅰ」、「離散数学」、「情報社会と情報倫理」、「基礎解析学Ⅱ」、「線形写像と幾何Ⅱ」、「集合と位相Ⅱ」、「解析学Ⅰ」、「ソフトウェア設計開発論」、「プログラミング言語論」、「基礎解析学Ⅲ」、「計画と数理」、「マルチメディアシステム論」、「形式言語とコンパイラ」、「ネットワークシステム」から12単位選択、または「経営工学」、「生産管理概論」、「流通管理概論」、「産業・社会調査法」、「経営システム概論」、「応用オペレーションズ・リサーチ」、「品質管理」、「サプライチェーンマネジメント」、「製品開発概論」、「循環型産業論」、「エコロジカル経済学」から12単位選択 「基礎解析学Ⅰ」、「離散数学」、「情報社会と情報倫理」、「基礎解析学Ⅱ」、「線形写像と幾何Ⅱ」、「集合と位相Ⅱ」、「解析学Ⅰ」、「ソフトウェア設計開発論」、「プログラミング言語論」、「基礎解析学Ⅲ」、「計画と数理」、「マルチメディアシステム論」、「形式言語とコンパイラ」、「ネットワークシステム」、「経営工学」、「生産管理概論」、「流通管理概論」、「産業・社会調査法」、「経営システム概論」、「応用オペレーションズ・リサーチ」、「品質管理」、「サプライチェーンマネジメント」、「製品開発概論」、「循環型産業論」、「エコロジカル経済学」、「数理モデリング」、「人間工学」、「解析学Ⅱ」、「アルゴリズムとデータ構造Ⅱ」、「情報と職業」、「情報科教育法Ⅰ」、「情報科教育法Ⅱ」、「デジタル信号処理」、「最適化と数理」、「人工知能と知識処理」、「情報理論」、「知的財産権論」からさらに16単位選択 （コース領域 コース実践科目）10単位（必修6単位、選択4単位） 必修6単位 「プログラミングⅢ」、「数理・情報学ゼミⅠ」、「数理・情報学ゼミⅡ」、「応用情報学演習」、「経営システム演習Ⅰ」、「経営システム演習Ⅱ」から4単位選択 （演習）4単位（必修） （卒業研究）4単位（必修） ＜自由選択科目＞10単位 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、教職科目、学芸員科目、海外演習、他学類専門科目からさらに10単位選択 【メカトロニクスコース】 ＜基盤教育科目＞34単位（必修15単位、選択19単位） ＜専門教育科目＞80単位（必修38単位、選択42単位） （学類共通領域 学類共通科目）2単位（必修） （学類共通領域 接続領域科目）4単位（必修） （学類共通領域 学類基礎科目）14単位（必修4単位、選択10単位） 必修4単位 「物理学Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「生物学」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「物理学Ⅱ」、「化学Ⅱ」、「地球科学」、「環境放射能学概論」から10単位選択 （学類共通領域 学類専門科目）2単位（必修） （コース領域 コース基礎科目）12単位（必修） （コース領域 コース専門科目）28単位（選択） 「情報科学概論」、「基礎物性物理」、「機構学」、「神経・生理心理学」、「電子回路」、「計測工学」、「流体力学」、「デジタル信号処理」、「統計力学」、「医用工学」から12単位選択 「情報科学概論」、「基礎物性物理」、「機構学」、「神経・生理心理学」、「電子回路」、「計測工学」、「流体力学」、「デジタル信号処理」、「統計力学」、「医用工学」、「熱力学」、「材料工学」、「計算機システム論」、「基礎解析学Ⅰ」、「線形写像と幾何Ⅱ」、「物理化学」、「アルゴリズムとデータ構造Ⅰ」、「線形写像と幾何Ⅱ」、「機器分析」、「理科教育法Ⅰ」、「理科教育法Ⅱ」、「解析学Ⅰ」、「基礎解析学Ⅱ」、「基礎解析学Ⅲ」、「理科教育法Ⅱ」、「解析学Ⅱ」、「放射線科学」、「心理学研究法」、「理科教育法Ⅲ」、「人工知能と知識処理」、「知的財産権論」からさらに16単位選択 （コース領域 コース実践科目）10単位（必修6単位、選択4単位） 必修6単位 「化学実験Ⅰ」、「プログラミングⅠ」、「プログラミングⅡ」、「CAD・機械加工実習」、「電子・生体工学実験」から4単位選択 （演習）4単位（必修） （卒業研究）4単位（必修）	1 学年の学期区分	2 学期
	1 学期の授業期間	1 5 週
	1 時限の授業の標準時間	9 0 分

教 育 課 程 等 の 概 要

【理工学群共生システム理工学類】

＜自由選択科目＞10単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、教職科目、学芸員科目、海外演習、他学類専門科目からさらに10単位選択

【分子デザイン科学コース】

＜基盤教育科目＞34単位（必修15単位、選択19単位）

＜専門教育科目＞80単位（必修38単位、選択42単位）

（学類共通領域 学類共通科目）2単位（必修）

（学類共通領域 接続領域科目）4単位（必修）

（学類共通領域 学類基礎科目）14単位（必修4単位、選択10単位）

必修4単位

「物理学Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「生物学」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「物理学Ⅱ」、「化学Ⅱ」、「地球科学」、「環境放射能学概論」から10単位選択

（学類共通領域 学類専門科目）2単位（必修）

（コース領域 コース基礎科目）12単位（必修）

（コース領域 コース専門科目）28単位（選択）

「情報科学概論」、「熱力学」、「材料工学」、「環境衛生科学」、「機器分析」、「化学工学」、「生化学」、「資源・エネルギー工学」、「高分子化学」、「発展無機化学」、「再生可能エネルギーⅠ」、「再生可能エネルギーⅡ」から12単位選択

「情報科学概論」、「熱力学」、「材料工学」、「環境衛生科学」、「機器分析」、「化学工学」、「生化学」、「資源・エネルギー工学」、「高分子化学」、「発展無機化学」、「再生可能エネルギーⅠ」、「再生可能エネルギーⅡ」、「基礎物性物理」、「電気回路」、「材料力学」、「基礎解析学Ⅰ」、「地質学概論」、「生物多様性概論」、「量子力学」、「制御工学」、「計測工学」、「電子回路」、

「基礎解析学Ⅱ」、「循環型産業論」、「製品開発概論」、「品質管理」、「生態学基礎」、「理科教育法Ⅰ」、「理科教育法Ⅳ」、「放射線科学」、「流体力学」、「理科教育法Ⅱ」、「理科教育法Ⅲ」、「知的財産権論」からさらに16単位選択

（コース領域 コース実践科目）10単位（必修6単位、選択4単位）

必修6単位

「物理学実験」、「化学実験Ⅲ」、「サイエンスライティング演習」から4単位選択

（演習）4単位（必修）

（卒業研究）4単位（必修）

＜自由選択科目＞10単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、教職科目、学芸員科目、海外演習、他学類専門科目からさらに10単位選択

【環境システムコース】

＜基盤教育科目＞34単位（必修15単位、選択19単位）

＜専門教育科目＞80単位（必修30単位、選択50単位）

（学類共通領域 学類共通科目）2単位（必修）

（学類共通領域 接続領域科目）4単位（必修）

（学類共通領域 学類基礎科目）14単位（必修4単位、選択10単位）

必修4単位

「物理学Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「生物学」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「物理学Ⅱ」、「化学Ⅱ」、「地球科学」、「環境放射能学概論」から10単位選択

（学類共通領域 学類専門科目）2単位（必修）

（コース領域 コース基礎科目）8単位（必修）

（コース領域 コース専門科目）32単位（選択）

「情報科学概論」、「気象学」、「地質学概論」、「生物多様性概論」、「分析化学」、「基礎無機化学」、「基礎有機化学」、「社会計画概論」、「地下水盆管理学」、「流域水文学」、「生態学基礎」、「保全遺伝学」、「環境微生物学」、「環境文化論」、「機器分析」、「森林生態学」、「水循環システム学」、「サウンドスケープ」から12単位選択

「情報科学概論」、「気象学」、「地質学概論」、「生物多様性概論」、「分析化学」、「基礎無機化学」、「基礎有機化学」、「社会計画概論」、「地下水盆管理学」、「流域水文学」、「生態学基礎」、「保全遺伝学」、「環境微生物学」、「環境文化論」、「機器分析」、「森林生態学」、「水循環システム学」、「サウンドスケープ」、「環境衛生科学」、「熱力学」、「生涯学習社会と学校・家庭・地域」、「博物館学概論」、「博物館教育論」、「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館資料論」、「博物館情報・メディア論」、「博物館展示論」、「社会情報分析」、「資源・エネルギー工学」、「生化学」、「理科教育法Ⅰ」、「理科教育法Ⅳ」、「解析学Ⅰ」、「循環型産業論」、「理科教育法Ⅱ」、「放射線科学」、「再生可能エネルギーⅠ」、「解析学Ⅱ」、「流体力学」、「エコロジカル経済学」、「生命環境の科学Ⅰ」、「理科教育法Ⅲ」、「再生可能エネルギーⅡ」からさらに20単位選択

（コース領域 コース実践科目）10単位（必修2単位、選択8単位）

必修2単位

「気象データ解析」、「社会計画演習」、「地球環境科学実験」、「地域環境計画演習」、「土壌・水圏微生物学実験」、「保全生物学実験」、「水理学演習」、「サイエンスライティング演習」から4単位選択

「気象データ解析」、「社会計画演習」、「地球環境科学実験」、「地域環境計画演習」、「土壌・水圏微生物学実験」、「保全生物学実験」、「水理学演習」、「サイエンスライティング演習」、「化学実験Ⅰ」、「プログラミングⅠ」、「自然環境調査法」、「森林調査法」、「他大学野外実習Ⅰ（集中）」、「他大学野外実習Ⅱ（集中）」、「生物多様性保全実習」、「地球環境調査法」からさらに4単位選択

（演習）4単位（必修）

（卒業研究）4単位（必修）

＜自由選択科目＞10単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、教職科目、学芸員科目、海外演習、他学類専門科目からさらに10単位選択

【履修科目の登録の上限】30単位（各学期）

ただし、前後期開講科目については後期履修登録扱いとすることができる。

また、専門教育科目以外の教職科目、集中講義はこの上限数から除かれる。